

AQUA RESORT ARTIMES

AQUA RESORT



お客様の声



四つ葉保育園様

●プラン:リース

●サイズ:W600×D450×H300

●導入年月:2012年4月

●仕様:シクリッド

このコーナーは、実際に水槽を設置して頂いたお客様のご紹介と、
水槽設置後の感想やご意見をいただくコーナーです。

●水槽を導入して変わったこと

以前から他の施設に設置してある水槽を見て、保育園でも導入したいという気持ちがありました。そんな時に「お試しで水槽を置いてみませんか」というお話をいただきました。

お試しで置いた水槽のお魚は大人気で、子どもたちは登園・降園時に必ず水槽の前に足を止め、お魚を目で追って楽しんでいました。

この様子を見て、すぐに導入を決めました。

●水槽を導入して変わったこと

玄関の近くに水槽を設置したため、朝泣いて登園する子どももお魚を見ることが気分転換になって、泣き止んでお部屋に行くことができます。水槽の中のディスプレイも毎回変わるので、子どもたちは飽きることなく、とてもワクワクで水槽を見ています。水槽の変化にはとても敏感で、観察したお魚の様子をお迎えに来た保護者の方にお話しある様子も見られ、親子の会話のきっかけにもなっています。

これからも水槽がみんなの落ち着いた癒しの空間になってくれればと思います。

人に教えたくなる！

おさかなコラム

意外と知らないお魚の生態、体の仕組み・・・
お魚ワールドの不思議をシリーズでご紹介します！

魚だけが持つアンテナ

魚だけが持つ側線という神経は水圧、水流、水の振動などを感じ取ることができる非常に重要な神経器官です。

水中で泳いでいる魚が岩や水草などの間を泳ぎ抜けたり、サケが急流をさかのぼったり、水槽などの限られた空間でもお互いにぶつかることがないのは、この側線神経がアンテナの役割を果たしているからです。

例えばコイの場合、体の横側の中央に頭から尻尾にかけて一列に並んだ線のようなものが見えます。これが側線と呼ばれるもので、線のように見えるのは「側線鱗(そくせんりん)」と呼ばれる小さなウロコが並んだものです。魚の側線は普通1本ですが、海水魚のアイナメには4本あります。

また、完全に水中生活を送るカエルの一部の種類は側線を持ち、味覚受容器の機能も兼ね備えています。

